

No.	002	—	2001	事務事業名	交通安全対策事業			細事務事業名				公的関与	1
PLAN	課名	危機管理課		係名	防災安全係		電話番号	089-964-4483		メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実			主要施策	(2)交通安全意識の高揚		
	事業の対象	市民						根拠法令					
	事業の目的	最終的	交通安全に対し多岐にわたり啓発を行い、市民が安心して生活できる環境を創れるよう交通安全対策を図っていきます。					今年度	交通弱者である子供や高齢者に対し交通安全思想の普及啓発を図ります。				
	活動内容	①	東温市交通安全指導員会による街頭啓発活動及び交通安全教室、自転車教室での交通安全指導					④					
		②	松山南交通安全協会支部による街頭啓発活動及び交通安全講習会の実施					⑤					
		③	高速道路交通安全協議会による交通安全啓発活動										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
		該当啓発			春・秋・年末の交通安全週間等での交通安全啓発運動			回	目標	30	30	30	30
							実績	26	28				
交通安全県民大会				交通安全県民大会への参加者数			名	目標	50	50	50	50	
								実績	50	42			
								目標					
								実績					
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務					費
	直接事業費			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		5,211 千円	5,534 千円	6,151 千円							
	計(A)		5,211 千円	5,534 千円	6,151 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.771 人	4,636 千円	0.771 人	4,643 千円	0.771 人	4,598 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		9,847 千円		10,177 千円		10,749 千円						
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	交通安全対策は行政の責務であり、県下関係機関と連携した事業を展開する必要があります。												
有効性	公共にしかできない事業であり、事業内容も適切です。												
達成度	平成27年度は、市内で3件の交通死亡事故が発生しています。平成26年度より2件増加しています。さらに交通安全意識の啓発に努める必要があります。												
効率性	適切なコストで実施しています。												
当面の課題	交通事故は一人ひとりが気をつけなければならないことです。その意識付けとして交通安全に関する普及啓発活動を推進すると共に、道路安全設備等の整備を行っていくことが必要です。												
改訂計画	「東温市交通安全計画」に基づき、関係機関・団体等と連携して交通事故のない東温を目指します。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	現在の「東温市交通安全計画」が平成27年度で満了しており、近年の交通環境を踏まえた新たな計画を策定し、交通事故のない安心して暮らせるまちづくりに努めてください。												

No.	002	—	2009	事務事業名	高齢者交通安全指導事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	危機管理課	係名	防災安全係	電話番号	089-964-4483	メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	20年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実		主要施策	(2)交通安全意識の高揚				
	事業の対象	市内に住所を有する75歳以上の者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	高齢者の交通死亡事故の減少への取り組みとして、専門の指導員が高齢者世帯を訪問し、交通事故防止の助言及び啓発グッズ等の配布を行い、本市から高齢者の交通死亡事故をなくします。併せて、防災・防犯対策の意識啓発活動も行います。			今年度	前年度に引き続き、高齢者を訪問し全対象世帯への啓発を目指します。						
	活動内容	①	交通安全アンケートの実施			④	交通危険箇所等の情報収集						
		②	交通安全に関する資料の配布と説明			⑤	防犯対策及び防災・減災に関する指導、避難場所等の確認						
		③	反射材等の配布、交通相談										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	最終目標			
		訪問面談実施率		全対象者への啓発指導を目指します。 (訪問世帯数/対象世帯数)		%	目標 100	100	100	100			
					実績 1	1							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務			費				
	直接事業費		平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	139千円	509千円	86千円								
	計(A)	139千円	509千円	86千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.040人 241千円	0.040人 241千円	0.040人 239千円								
臨時職員工数・経費		1.477人 2,870千円	1.477人 2,840千円	1.477人 2,846千円									
全体事業費(A+B)		3,249千円	3,590千円	3,171千円									
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	高齢者の交通事故が多発しています。交通安全指導はもちろん、防災・防犯対策についても指導していく必要があります。												
有効性	事故発生件数、負傷者・死者数のいずれもが概ね減少傾向にあり、事業の継続は有効と考えています。												
達成度	複数回訪問しても留守で面会できない家もありますが概ね目標を達成していると考えます。												
効率性	交通安全・防災・防犯等、より総合的な高齢者指導の実施を検討します。												
当面の課題	今後75歳以上の人口の増加による訪問件数の増加が見込まれるため、訪問体制の検討を行う必要があります。												
改訂計画	訪問によるアンケートの結果や交通事故等の発生状況を踏まえ、今後の訪問指導内容を充実させます。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	少子高齢化社会の進展に伴い、高齢者の交通事故は、加害者・被害者ともに増加する傾向にあります。本事業の推進により、交通安全指導や防災知識の普及を図り、高齢者の交通事故防止に努めてください。												